

流域治水の自分事化について (令和8年2月)



流域治水とやま



流域治水

- ・ 概要 P 1 ~6
- ・ 常願寺川水系 P 7 ~10
- ・ 神通川水系 P 11~15
- ・ 庄川水系 P 16~20
- ・ 小矢部川水系 P 21~24

「流域治水」の推進

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化に適応していくため、流域のあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」へ転換。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 集水域

[国・市、企業、住民]
雨水貯留浸透施設の整備、
ため池等の治水利用

流水の貯留 河川区域

[国・県・市・利水者]
治水ダム建設・再生、
利水ダム等において貯留水を
事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]
土地利用と一体となった遊水
機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]
河床掘削、引堤、砂防堰堤、
雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]
「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導／ 氾濫域

住まい方の工夫
[国・市、企業、住民]
浸水範囲を減らす
[国・県・市]
二線堤の整備、
自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 氾濫域

[国・県]
水害リスク情報の空白地帯解消、
多段型水害リスク情報を発信

避難体制を強化する

[国・県・市]
長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

[企業、住民]
工場や建築物の浸水対策、
BCPの策定

住まい方の工夫

[企業、住民]
不動産取引時の水害リスク情報
提供、金融商品を通じた浸水対
策の促進

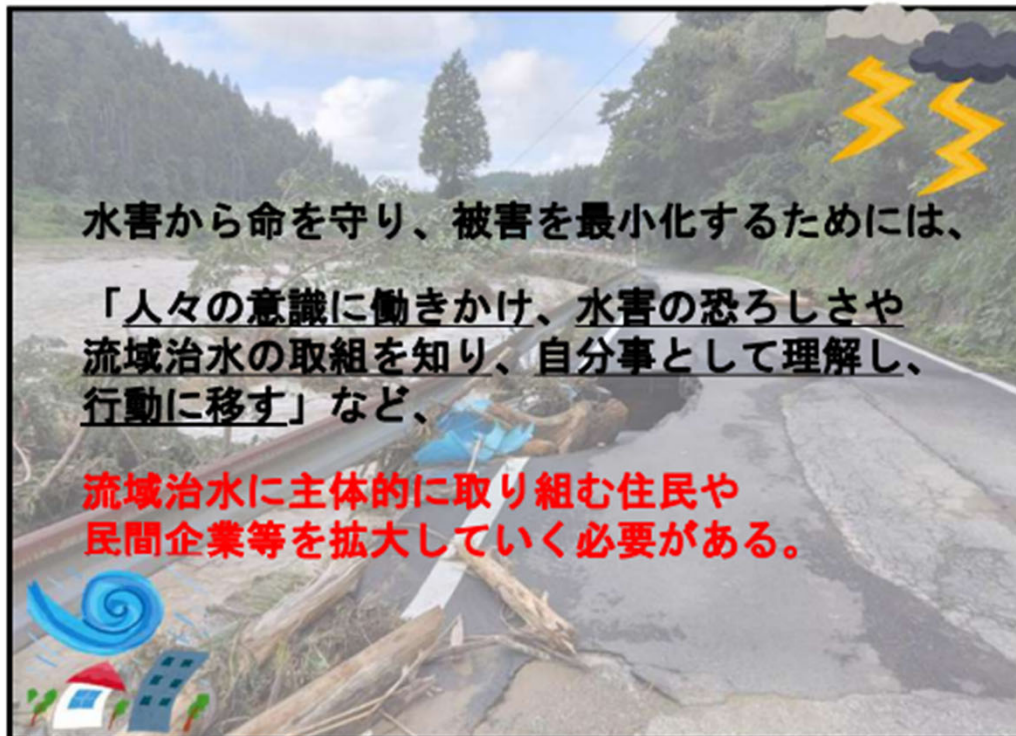
被災自治体の支援体制充実

[国・企業]
官民連携によるTEC-FORCEの
体制強化

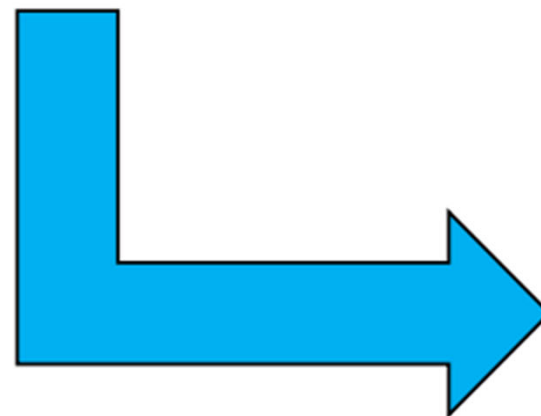
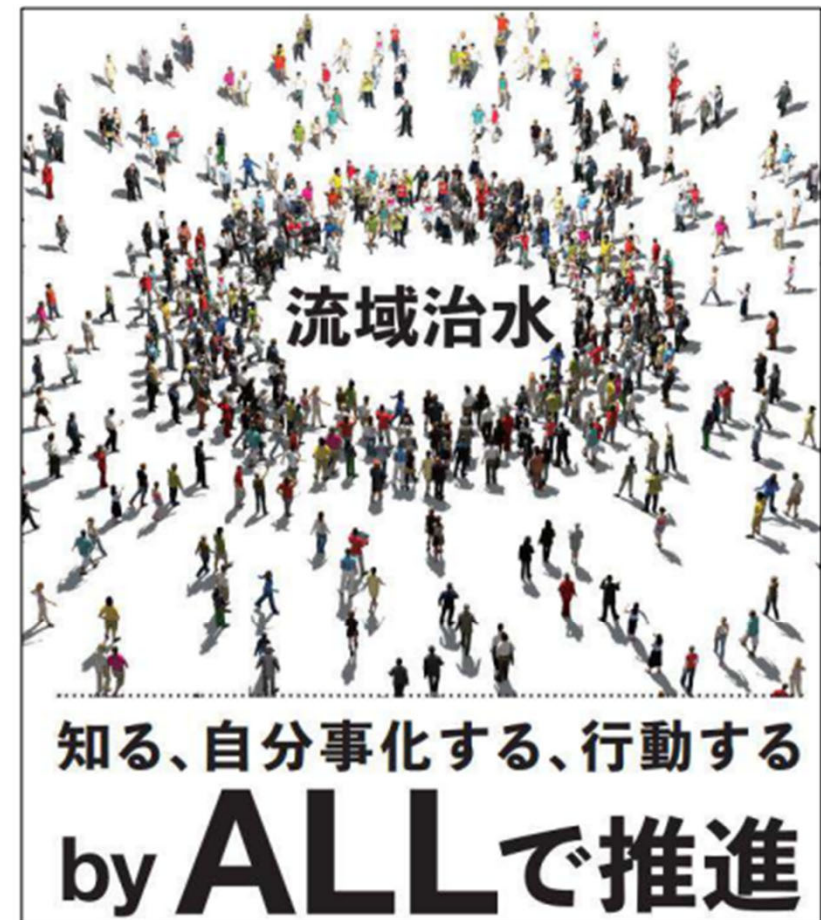
氾濫水を早く排除する

[国・県・市等]
排水門等の整備、排水強化

県：都道府県 市：市町村 []：想定される対策実施主体



そこで、各種普及施策の推進状況やその効果等について「**流域治水の自分事化**」としてフォローアップを行い、関係者で共有の上、取組内容について**流域治水プロジェクト**に反映していく。



「流域治水の自分事化」ポイント①

- 水災害について「知る」と「行動」することにはギャップが存在している。これを埋めるためには、自分事化として捉え主体的に行動することが必要であり、各自が行動の可能性や有効性を考える素材や機会を提供する施策が必要。

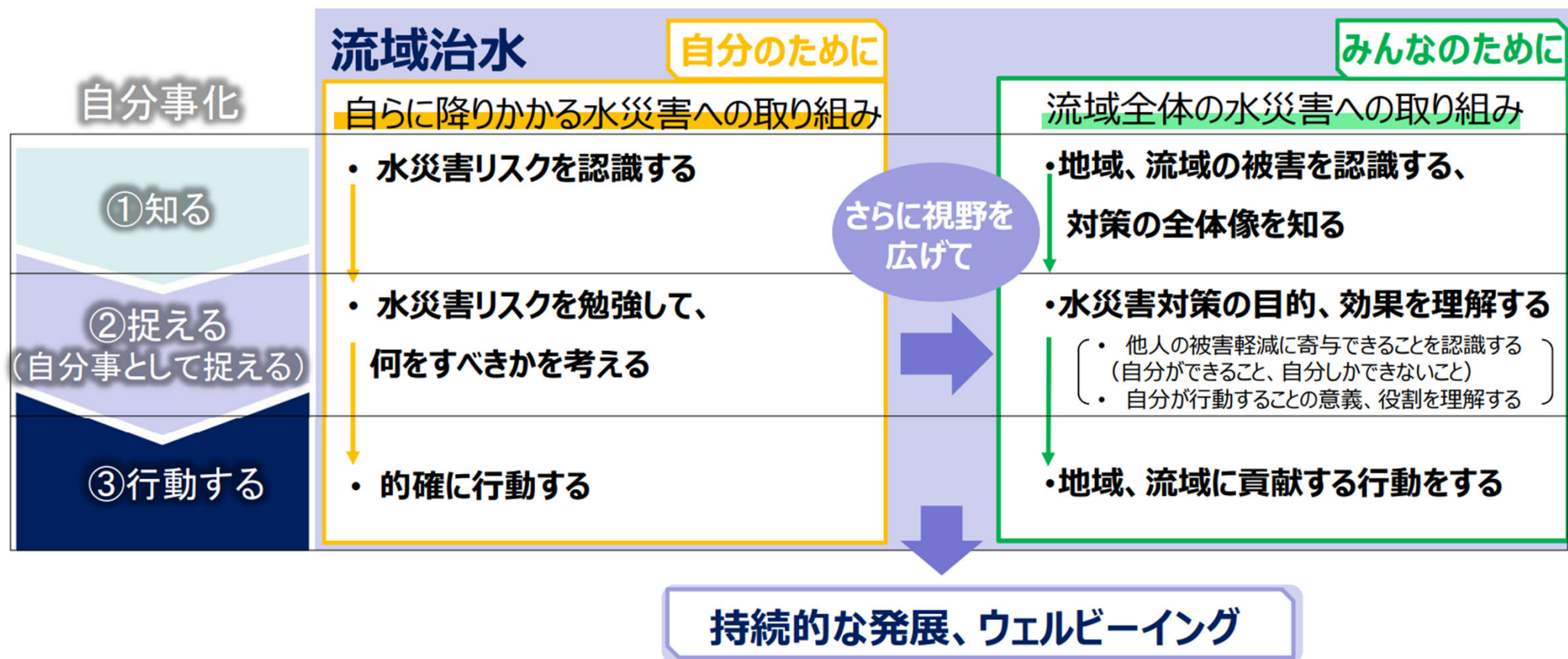


「知る」と「行動」をつなげる『自分事化』が課題

「流域治水の自分事化」ポイント②

- 自らに降りかかる水災害への取り組みから、さらに視野を広げて、流域全体の水災害への取り組みへと自らの行動を深化させる。

⇒ 流域治水に取り組む主体を増やす。



「流域治水の自分事化」の取組内容

#1 取組計画

- ・「流域治水の自分事化」としてこれから取り組んでいくための計画
- ・大規模氾濫減災対策協議会での取組等を参考に作成

#1 自分事化に向けた取組計画

●●川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和5年度の取組計画

↑ 流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

カテゴリは適宜追加

連携活動

- メディアとダム・砂防堰堤等の管理をわかりやすく伝えるための勉強会を実施 (●回、●人)
- 流域市町村の小学校から社会科見学等の機会を利用してダム・砂防堰堤等の役割や効果、必要性を説明 (●回、●人)

流域に視野を広がる取組は上方に記入

教育活動

- 自主防災組織等からなる防災講話や、県との研修会等 (●回、●人)
- 分かりやすい教材等災教育 (●回、●人)
- 小中学校への防災タイムラインを活用したの開催 (●回、●人)

流域治水の広報

- 広報誌で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施 (●市町村、●回)

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害計画区域等の公表 (●地区)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップの更新・配布 (●市、●町等)
- 避難場所や経路等に関する情報の周知 (気象・防災情報の提供)

①知る機会を増やす (水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。)

②自分事と捉えること (水災害のリスクが自分事と捉えられ、まっかりを提供し、行動に向かう状況を作る)

③行動を誘発する (流域治水に取り組む主体が増える)

#2 ロードマップ

- ・「流域治水の自分事化」の取組の年間ロードマップ

#2 令和5年度：自分事化に向けた取組のロードマップ

取組み・主対象	第1四半期	第2四半期
①知る機会を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ○水災害、流域治水の広報 (地域 個人 企業・団体) ○連携活動 (地域 個人 企業・団体) ○リスク情報等の提供 (地域 個人 企業・団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報誌、土砂災害の啓発活動 (●市町村、●回) ○小学校の社会科見学等の機会を利用してダム・砂防堰堤等の役割や効果、必要性を説明 (●回、●人) ○浸水想定区域、土砂災害計画区域等の公表 (●地区) ○総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップの更新・配布 (●市、●町等) ○避難場所や経路等に関する情報の周知 (気象・防災情報の提供)
②自分事と捉えること	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動 (地域 個人 企業・団体) ○訓練活動 (地域 個人 企業・団体) ○計画策定 (地域 個人 企業・団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ○メディアと管理をわかぬ勉強会 (●回、●人) ○小学校の社会科見学等の機会を利用してダム・砂防堰堤等の役割や効果、必要性を説明 (●回、●人) ○浸水想定区域、土砂災害計画区域等の公表 (●地区) ○総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップの更新・配布 (●市、●町等) ○避難場所や経路等に関する情報の周知 (気象・防災情報の提供)
③行動を誘発する	<ul style="list-style-type: none"> ○水災害対策の支援 (個人 企業・団体) ○水防活動の支援 (地域 個人 企業・団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災講話、研修会 (●市町村、●回) ○小学校の社会科見学等の機会を利用してダム・砂防堰堤等の役割や効果、必要性を説明 (●回、●人) ○浸水想定区域、土砂災害計画区域等の公表 (●地区) ○総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップの更新・配布 (●市、●町等) ○避難場所や経路等に関する情報の周知 (気象・防災情報の提供)

#3 自分事化に向けた取組のフォローアップ例

●●川水系流域治水協議会 (●●市)

結果報告： 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

市町村等の実施主体別にページを分けることも可

参考様式 国土交通省

↑ 流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

カテゴリは適宜追加

連携活動

- ダム、砂防等インフラの役割、メカニズムが伝わるツアーの開催

教育活動

- 分かりやすい教材等を用いた防災教育 (●回、●人)
- 小中学校への防災教育・マイタイムラインを活用した出前講座 (●回、●人)

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施 (●市町村、●回、●人)

水防活動の支援

- 水防活動拠点整備 (●拠点)

実施内容を記入

水防活動の支援

- 企業の自営水防の取り組みを支援 (●社、●拠点)

連携活動

- 河川空間の活用を通じた意識醸成 (●箇所、約●●人が川の日に「水辺で乾杯」を実施)

流域治水の広報

- 浸水想定区域、土砂災害計画区域等を公表 (●地区)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップを更新・配布 (●市、●町等)
- 避難場所や経路等に関する情報の周知 (気象・防災情報の提供を●地区等で実施)

リスク情報等の提供

- 危険管理型水位計・監視カメラを設置、増設 (●河川、●箇所設置)

計画策定

- 地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (●地区、●回開催)

①知る機会を増やす (水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。)

②自分事と捉えることを促す (水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野を広がるまっかりを提供し、行動に向かう状況を作る。)

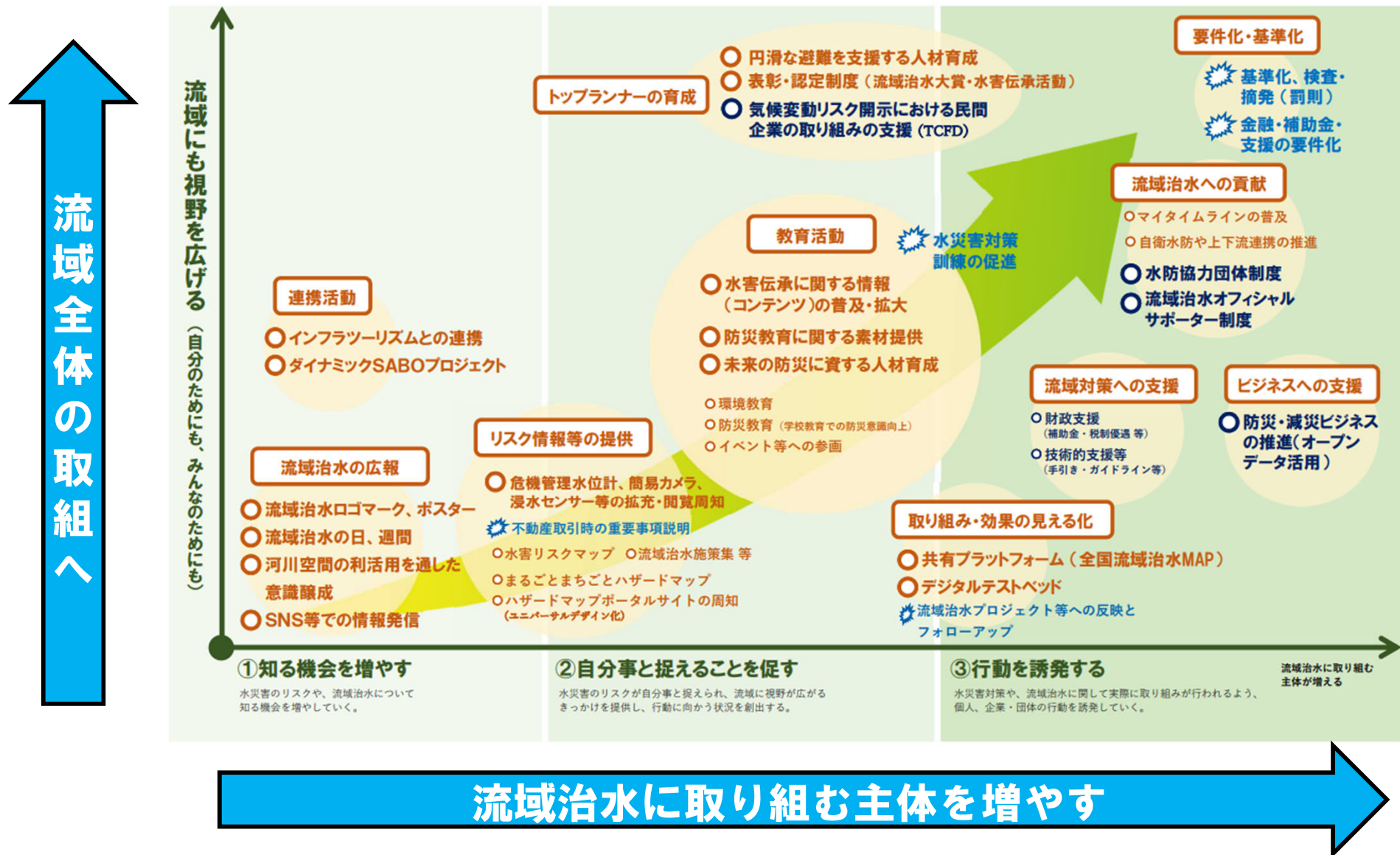
③行動を誘発する (流域治水に取り組む主体が増える)

#3 フォローアップ

- ・各機関の取組状況の確認・共有

各水系で#1～3の3つでフォローアップを行っていき
流域治水プロジェクトへ反映していく

「流域治水の自分事化」の取組内容



課題である「自分事と捉え主体的に行動すること」「自らの行動を深化させること」を達成するために足りない施策・施策の連動性について見ることで、より有効な対策が出来る。

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【常願寺川水系】

「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度の取組計画

【文字色凡例】

- ・茶色：令和7年度・8年度ともに実施(実績及び予定)あり
- ・緑色：令和7年度実施なし・令和8年度実施予定あり

連携活動

- 河川清掃の実施<村>
- 水防河川巡視の実施<国、県、市町村等>
- 河川合同パトロールの実施<県、市町村>

教育活動

- 小学生を対象とした防災教育の実施<国>
- 小・中学校への防災教育、マイ・タイムラインを活用した出前講座<県、市>
- 大学生を対象とした防災教育の実施<国>
- 小学生向けのお天気フェアを開催<気象台>年1回
- 自主防災組織を対象とした水防講習会の実施<国>
- 自主防災組織等に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年3回
- 住民を対象とした出前講座の実施<国、市町>
- 防災士養成研修<県>年6回
- 防災機関担当者に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年5回
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催<国>

訓練活動

- 洪水予報対向演習の実施<国、気象台>
- 洪水対応演習の実施<国、県、市町村等>
- 排水ポンプ車稼働訓練の実施<国>
- 水防訓練の実施<市>
- 防災訓練、住民参加型の避難訓練、避難所開設訓練の実施<市町村>
- 自治体防災担当者に対し気象防災ワークショップの実施<気象台>

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施<国、市町村等>
- HP・ポスターを活用した水防団員の募集<市>
- 自主防災組織等への防災訓練支援の実施<市>
- 水防資材の確認・整備<県、市町村>
- 災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化<村>

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水及び河川情報の周知<国>
- ホームページ及びSNSでの情報提供<県>
- 市広報紙やラジオでの周知広報<市>
- 流域内他事務所と連携した広報展開(パネル展示)<国>
- ”とやま川の会”が作成した「流域治水とやま」ロゴマークの活用<国>
- 富山地区広域圏クリーンセンター展望台での流域治水広報(パネル展示)の実施<国>
- リーフレットの作成<市>

リスク情報等の提供

- メディア説明会の実施<国、気象台、県>
- 台風・大雨時の気象解説<国、気象台>
- 台風・大雨時の警報・注意報の発表<気象台>
- Oxによる河川・出水情報の発信<国>
- 内外水統合型水害リスクマップの公表<国>
- 中小河川の洪水浸水想定区域図の公表<県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<県>
- 準用河川水位の市HP掲載<市>
- 県管理ダムの貯水位等を県ホームページで公表<県>
- デジタル防災マップを用いたリスク情報等の提供<県>
- 浸水実績の周知<市>
- 浸水等リスクの現地表示<市>
- 総合的な防災マップの作成・配布(洪水・内水ハザードマップ)<市町村>
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組<町>
- 避難場所や経路等に関する情報の周知(気象・防災情報の提供)<町>
- 新しい気象情報の運用開始<気象台>

水災害対策の支援

- 出水期前に土のう置き場へ土のうを補充<市>
- 民間開発事業者の開発行為に伴う雨水調整池整備への補助<町>
- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<国>

計画策定

- タイムラインの運用検証・改善<国>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<県、市町>
- 防災指針(立地適正化計画)の公表<町>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p> <hr/> <p>◎連携活動 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>ホームページ及びSNSでの情報提供</p> <p>市広報紙やラジオでの周知広報</p> <p>流域内他事務所と連携した 広報展開(パネル展示)</p> <p>"とやま川の会"が作成した「流域治水とやま」ロゴマークの活用</p> <p>富山地区広域圏クリーンセンター展望台での流域治水広報(パネル展示)の実施</p> <p>リーフレットの作成</p>	<p>● ラジオを活用した流域治水及び 河川情報の周知</p> <p>● 河川合同パトロール</p> <p>● 水防河川巡視</p>	<p>● 河川清掃</p>	
	<p>台風・大雨時の気象解説</p> <p>台風・大雨時の警報・注意報の発表</p> <p>Xによる河川・出水情報の発信</p> <p>内外水統合型水害リスクマップの公表</p> <p>中小河川の洪水浸水想定区域図の公表</p> <p>河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信</p> <p>準用河川水位の市HP掲載</p> <p>県管理ダムの貯水位等を県ホームページで公表</p> <p>デジタル防災マップを用いたリスク情報等の提供</p> <p>浸水実績の周知</p> <p>浸水等リスクの現地表示</p> <p>総合的な防災マップの作成・配布(洪水・内水ハザードマップ)</p> <p>ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組</p> <p>避難場所や経路等に関する情報の周知(気象・防災情報の提供)</p>	<p>● メディア説明会の実施</p> <p>● 新しい気象情報の運用開始</p>		
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <hr/> <p>◎教育活動 地域 個人 </p>	<p>小学生を対象とした防災教育の実施</p> <p>小・中学校への防災教育、マイ・タイムラインを活用した出前講座</p>			

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>大学生を対象とした防災教育の実施</p> <p>小学生向けのお天気フェアを開催 年1回</p> <p>自主防災組織を対象とした水防講習会の実施</p> <p>自主防災組織等に気象現象や気象情報に関する出前講座 年3回</p> <p>住民を対象とした出前講座の実施</p> <p>防災士養成研修<県>年6回</p> <p>防災機関担当者に気象現象や気象情報に関する出前講座 年5回</p>			
	<p>排水ポンプ稼働訓練の実施</p> <p>防災訓練、住民参加型の避難訓練、避難所開設訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 洪水予報対向演習 <ul style="list-style-type: none"> ● 洪水対応演習 ● 水防訓練 ● 自治体防災担当者に対し気象防災ワークショップ 			
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>タイムラインの運用検証・改善</p> <p>要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</p> <p>防災指針(立地適正化計画)の公表</p>			
	<p>民間開発事業者の開発行為に伴う雨水調整池整備への補助</p> <p>「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出水期前に土のう置き場へ土のうを補充 			
	<p>HP・ポスターを活用した水防団員の募集</p> <p>自主防災組織等への防災訓練支援の実施</p> <p>水防資材の確認・整備</p> <p>災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水防工法研修会 			

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【常願寺川水系】

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

【文字色凡例】
 ・茶色：令和7年度・8年度ともに実施(実績及び予定)あり
 ・青色：令和7年度実施あり・令和8年度実施予定なし

流域にも視野を広げる
 (自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 河川清掃の実施<村>R7.9~10月頃
- 水防河川巡視の実施<国、県、市町村等>R7.6月
- 河川合同パトロールの実施<県、市町村>R7.5月

教育活動

- 小学生を対象とした防災教育の実施<国>
- 小・中学校への防災教育、マイ・タイムラインを活用した出前講座<県、市>
- 大学生を対象とした防災教育の実施<国>
- 小学生向けのお天気フェアを開催<気象台>年1回、計80人
- 自主防災組織を対象とした水防講習会の実施<国>
- 自主防災組織等に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年3回
- 住民を対象とした出前講座の実施<国、市町>
- 防災士養成研修<県>年6回、720人
- 防災機関担当者に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年5回

訓練活動

- 洪水予報対向演習の実施<国、気象台>R7.4月
- 洪水対応演習の実施<国、県、市町村等>R7.5月
- 排水ポンプ車稼働訓練の実施<国>
- 水防訓練の実施<市>R7.5月
- 防災訓練、住民参加型の避難訓練、避難所開設訓練の実施<市町村>
- 自治体防災担当者に対し気象防災ワークショップの実施<気象台>R7.4月
- 異常洪水時防災操作を想定した防災訓練の実施<県>

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施<国、市町村等>R7.6月
- HP・ポスターを活用した水防団員の募集<市>
- 自主防災組織等への防災訓練支援の実施<市>
- 水防資材の確認・整備<県、市町村>
- 災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化<村>

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水及び河川情報の周知<国>R7.5~6月
- ホームページ及びSNSでの情報提供<県>
- 市広報紙やラジオでの周知広報<市>
- 流域内他事務所と連携した広報展開(パネル展示)<国>
- ”とやま川の会”が作成した「流域治水とやま」ロゴマークの活用<国>
- 富山地区広域圏グリーンセンター展望台での流域治水広報(パネル展示)の実施<国>



警報・注意報の表示例(気象台)

リスク情報等の提供

- メディア説明会の実施<国、気象台、県>R7.7月
- 台風・大雨時の気象解説<国、気象台>
- 台風・大雨時の警報・注意報の発表<気象台>
- IXによる河川・出水情報の発信<国>
- 内外水統合型水害リスクマップの公表<国>R8.3月
- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成・公表<県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<県>
- 準用河川水位の市HP掲載<市>
- 県管理ダムの貯水位等を県ホームページで公表<県>
- デジタル防災マップを用いたリスク情報等の提供<県>
- 浸水実績の周知<市>
- 浸水等リスクの現地表示<市>
- 総合的な防災マップの作成・配布(洪水・内水・ハザードマップ)<市町村>
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組<町>
- 避難場所や経路等に関する情報の周知(気象・防災情報の提供)<町>
- 3Dデータを活用した浸水シミュレーションの可視化検討<村>



出前講座の様子(気象台)



お天気フェアの様子(気象台)

水災害対策の支援

- 出水期前に土のう置き場へ土のうを補充<市>R7.5月
- 民間開発事業者の開発行為に伴う雨水調整池整備への補助<町>
- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<国>

計画策定

- タイムラインの運用検証・改善<国>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<県、市町>
- 防災指針(立地適正化計画)の公表<町>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【神通川水系】

「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度の取組計画

【文字色凡例】

- ・茶色：令和7年度・8年度ともに実施（実績及び予定）あり
- ・緑色：令和7年度実施なし・令和8年度実施予定あり

連携活動

- ”流域ぶらっとフォーム”が主催する流域治水ワークショップへの参加<国、県、市町村>
- 顔の見える関係の構築・防災意識向上<国、県、市>
- ・神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会
- ・宮川・庄川流域新五流域地域委員会
- 年度当初の出水期前に、各防災機関との顔合わせを実施<市>
- “飛騨の砂守ツアー”－砂防と観光振興のマッチング－<国、県、市町村>
- 流域治水対策のための多機関連携<国、関係機関>
- 流域内に在籍する砂防専門家と連携した砂防学習<国、県>
- 水防河川巡視の実施<国、県、市町村等>
- 河川合同パトロールの実施<県、市>

教育活動

- 小・中学校への防災教育、マイ・タイムラインを活用した出前講座<県、市>
- 丹生川ダム流域の中学校に対して、ダムの役割や効果、必要性を説明<県>
- 流域市町村の小学校から総合学習等の機会を利用して伝統的防災施設（霞堤）の役割や効果、必要性を説明<県>
- 小学生向けのお天気フェアを開催<気象台>年1回
- 現場で土砂災害リスクを学ぶ。土石流映像・土石流模型によるリスク学習<国>
- 砂防学習活動の展開<国>
- 自主防災組織を対象とした水防講習会の実施<国>
- 自主防災組織等に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年3回
- 住民を対象とした出前講座の実施<国、市>
- 防災士養成研修<県>年6回
- 地域防災リーダーの育成<市>
- 防災機関担当者に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年5回
- 土砂災害防止月間の砂防展<国>年1回
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催<国>

訓練活動

- 洪水予報対向演習の実施<国、気象台>
- 洪水対応演習の実施<国、県、市町村等>
- 排水ポンプ車稼働訓練の実施<国>
- 排水ポンプ車の操作訓練を実施<県>出水期前1回
- 水防訓練の実施<市>
- 防災訓練、住民参加型の避難訓練、避難所開設訓練の実施<県、市町村>
- 神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会による合同防災訓練<国、県、市町村>年1回
- 自治体防災担当者に対し気象防災ワークショップの実施<気象台>

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施<国、市町村等>
- HP・ポスターを活用した水防団員の募集<市>
- 防災訓練支援の実施<市>
- 水防資材の確認・整備<県、市>
- 水防団（消防団）との情報共有体制の強化<県>

リスク情報等の提供

- メディア説明会の実施<国、気象台、県>
- 台風・大雨時の気象解説<国、気象台>
- 台風・大雨時の警報・注意報の発表<気象台>
- XIによる河川・出水情報の発信<国>
- 内外水統合型水害リスクマップの公表<国>
- 中小河川の洪水浸水想定区域図の公表<県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<県>
- 県管理ダムの貯水位等を県ホームページで公表<県>
- デジタル防災マップを用いたリスク情報等の提供<県>
- 浸水実績の周知<市>
- 浸水等リスクの現地表示<市>
- 総合的な防災マップの作成・配布（洪水・内水ハザードマップ）<市>
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組<県>
- 準用河川水位の市HP掲載<市>
- 防災行政無線、市SNS、防災ラジオ等による市民へ情報提供<市>
- 洪水浸水想定区域図（県管理河川）の公表<県>
- 地域の自治会と出水時の危険箇所を確認し、水害リスクに対する理解促進の取組<県>
- 水位計・河川監視カメラの整備・活用<県>
- 「ぎぶ川と道のアラームメール」を活用して市民等へ避難に資する情報の提供<県>
- 土砂災害警戒区域等の指定・公表・周知<国、県>
- 土砂災害警戒情報の発表<県>
- 土砂災害リスク情報の現地表示（標識設置）<県>
- 岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信<県>
- 新しい気象情報の運用開始<気象台>

水災害対策の支援

- 水田貯留への支援<市>
- 出水期前に土のう置き場へ土のうを補充<市>
- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<国>

計画策定

- タイムラインの運用検証・改善<国>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<県、市町>
- 土砂・洪水氾濫対策計画策定に向けた高リスク流域の抽出<県>
- 市町村の立地適正化計画の策定及び防災指針の作成支援（安全で魅力的なまちづくり勉強会）<県>年1回

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水及び河川情報の周知<国>
- 市広報紙やラジオでの周知広報<市>
- 流域内他事務所と連携した広報展開（パネル展示）<国>
- ”とやま川の会”が作成した「流域治水とやま」ロゴマークの活用<国>
- ホームページ及びSNSでの情報提供<県>
- 霞堤などの位置や役割を伝える「伝統的防災施設マップ」を配布、HP掲載<県>
- 土砂災害防止月間等における懸垂幕設置、ポスター・パネル掲示<県、市>
- 防災講和、防災教育の場にて広報を実施<市>
- 防災訓練・ミスベリング等へ出向き土石流模型やパネル展示<国>
- リーフレットの作成<市>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>市広報紙やラジオでの周知広報</p> <p>流域内他事務所と連携した広報展開(パネル展示)</p> <p>”とやま川の会”が作成した「流域治水とやま」ロゴマークの活用</p> <p>ホームページ及びSNSでの情報提供</p> <p>霞堤などの位置や役割を伝える「伝統的防災施設マップ」を配布、HP掲載</p> <p>土砂災害防止月間等における懸垂幕設置、ポスター・パネル掲示</p> <p>防災講和、防災教育の場にて広報を実施</p> <p>防災訓練・ミズベリング等へ出向き土石流模型やパネル展示</p> <p>リーフレットの作成</p>	<p>● ラジオを活用した流域治水及び 河川情報の周知</p>			
	<p>◎連携活動 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>”流域ぶらっとフォーム”が主催する流域治水ワークショップへの参加</p> <p>顔の見える関係の構築・防災意識向上 ・神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会 ・宮川・庄川流域新五流域地域委員会</p> <p>年度当初の出水期前に、各防災機関との顔合わせを実施</p> <p>“飛騨の砂守ツアー”－砂防と観光振興のマッチング－</p> <p>流域流木対策のための多機関連携</p> <p>流域内に在籍する砂防専門家と連携した砂防学習</p>	<p>● 水防河川巡視</p> <p>● 河川合同パトロール</p>		
	<p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>台風・大雨時の気象解説</p> <p>台風・大雨時の警報・注意報の発表</p> <p>XIによる河川・出水情報の発信</p> <p>内外水統合型水害リスクマップの公表</p> <p>中小河川の洪水浸水想定区域図の公表</p> <p>河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信</p> <p>県管理ダムの貯水位等を県ホームページで公表</p> <p>デジタル防災マップを用いたリスク情報等の提供</p>			

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>浸水実績の周知<市></p>			
	<p>浸水等リスクの現地表示</p>			
	<p>総合的な防災マップの作成・配布(洪水・内水ハザードマップ)</p>			
	<p>ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組</p>			
	<p>準用河川水位の市HP掲載</p>			
	<p>防災行政無線、市SNS、防災ラジオ等による市民へ情報提供</p>			
	<p>洪水浸水想定区域図(県管理河川)の公表</p>			
	<p>地域の自治会と出水時の危険箇所を確認し、水害リスクに対する理解促進の取組</p>			
	<p>水位計・河川監視カメラの整備・活用</p>			
	<p>「ぎふ川と道のアラームメール」を活用して市民等へ避難に資する情報の提供</p>			
	<p>土砂災害警戒区域等の指定・公表・周知</p>			
	<p>土砂災害警戒情報の発表</p>			
	<p>土砂災害リスク情報の現地表示(標識設置)</p>			
	<p>岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信</p>	<p>● 新しい気象情報の運用開始</p>	<p>● メディア説明会</p>	
	<p>◎教育活動 地域 個人 </p>	<p>小・中学校への防災教育、マイタイムラインを活用した出前講座</p>		
<p>丹生川ダム流域の中学校に対して、ダムの役割や効果、必要性を説明</p>				
<p>流域市町村の小学校から総合学習等の機会を利用して伝統的防災施設(霞堤)の役割や効果、必要性を説明</p>				
<p>小学生向けのお天気フェアを開催 年1回</p>				
<p>現場で土砂災害リスクを学ぶ。土石流映像・土石流模型によるリスク学習</p>				
<p>砂防学習活動の展開</p>				
<p>自主防災組織を対象とした水防講習会の実施</p>				
<p>自主防災組織等に気象現象や気象情報に関する出前講座 年3回</p>				
<p>住民を対象とした出前講座の実施</p>				
<p>防災士養成研修 年6回</p>				
<p>地域防災リーダーの育成</p>				

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【神通川水系】

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

【文字色凡例】

- ・茶色：令和7年度・8年度ともに実施（実績及び予定）あり
- ・青色：令和7年度実施あり・令和8年度実施予定なし

連携活動

- "流域ぶらっとフォーム"が主催する流域治水ワークショップへの参加<国、県、市町村>
- 顔の見える関係の構築・防災意識向上<国、県、市>
 - ・神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会
 - ・宮川・庄川流域新五流域地域委員会
- 年度当初の出水期前に、各防災機関との顔合わせを実施<市>
- "飛騨の砂守ツアー"一砂防と観光振興のマッチング<国、県、市町村>第2、第3四半期、約20名
- 流域治水対策のための多機関連携<国、関係機関>
- 流域内に在籍する砂防専門家と連携した砂防学習<国、県>
- 水防河川巡視の実施<国、県、市町村等>R7.5~6月
- 河川合同パトロールの実施<県、市>R7.5月

教育活動

- 小・中学校への防災教育、マイ・タイムラインを活用した出前講座<県、市>
- 丹生川ダム流域の中学校に対して、ダムの役割や効果、必要性を説明<県>
- 流域市町村の小学校から総合学習等の機会を利用して伝統的防災施設（霞堤）の役割や効果、必要性を説明<県>
- 小学生向けのお天気フェアを開催<気象台>年1回、計80人
- 現場で土砂災害リスクを学ぶ。土石流映像・土石流模型によるリスク学習<国>
- 砂防学習活動の展開<国>計80名程度
- 自主防災組織を対象とした水防講習会の実施<国>
- 自主防災組織等に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年3回
- 住民を対象とした出前講座の実施<国、市>
- 防災士養成研修<県>年6回、720人
- 地域防災リーダーの育成<市>
- 防災機関担当者に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年5回
- 土砂災害防止月間の砂防展<国>年1回、第1四半期



小中学校への防災教育（岐阜県）

訓練活動

- 洪水予報対向演習の実施<国、気象台>R7.4月
- 洪水対応演習の実施<国、県、市町村等>R7.5月
- 排水ポンプ車稼働訓練の実施<国>
- 排水ポンプ車の操作訓練を実施<県>出水期前1回
- 水防訓練の実施<市>R7.5月
- 防災訓練、住民参加型の避難訓練、避難所開設訓練の実施<県、市町村>
- 神通川・庄川上流大規模土砂災害対策協議会による合同防災訓練<国、県、市町村>年1回
- 自治体防災担当者に対し気象防災ワークショップの実施<気象台>R7.4月

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施<国、市町村等>R7.6月
- HP・ポスターを活用した水防団員の募集<市>
- 防災訓練支援の実施<市>
- 水防資材の確認・整備<県、市>
- 水防団（消防団）との情報共有体制の強化<県>

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

リスク情報等の提供

- メディア説明会の実施<国、気象台、県>R7.7月
- 台風・大雨時の気象解説<国、気象台>
- 台風・大雨時の警報・注意報の発表<気象台>
- Xによる河川・出水情報の発信<国>
- 内外水統合型水害リスクマップの公表<国>R8.3月
- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成・公表<県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<県>
- 県管理ダムの貯水位等を県ホームページで公表<県>
- デジタル防災マップを用いたリスク情報等の提供<県>
- 浸水実績の周知<市>
- 浸水等リスクの現地表示<市>
- 総合的な防災マップの作成・配布（洪水・内水・ハザードマップ）<市>
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組<県>
- 準用河川水位の市HP掲載<市>
- 防災行政無線、市SNS、防災ラジオ等による市民へ情報提供<市>
- 洪水浸水想定区域図（県管理河川）の公表<県>
- 地域の自治会と出水時の危険箇所を確認し、水害リスクに対する理解促進の取組<県>
- 水位計・河川監視カメラの整備・活用<県>
- 「ぎふ川と道のアラームメール」を活用して市民等へ避難に資する情報の提供<県>
- 土砂災害警戒区域等の指定・公表・周知<国、県>
- 土砂災害警戒情報の発表<県>
- 土砂災害リスク情報の現地表示（標識設置）<県>
- 岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信<県>
- 水門の遠隔監視、遠隔操作化（2箇所）<市>



出前講座の様子（気象台）



お天気フェアの様子（気象台）

水災害対策の支援

- 水田貯留への支援<市>
- 出水期前に土のう置き場へ土のうを補充<市>R7.5月
- 「田んぼダム」に取り組み組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<国>

計画策定

- タイムラインの運用検証・改善<国>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<県、市町>
- 土砂・洪水氾濫対策計画策定に向けた高リスク流域の抽出<県>
- 市町村の立地適正化計画の策定及び防災指針の作成支援（安全で魅力的なまちづくり勉強会）<県>年1回（約40人）5月



警報・注意報の表示例（気象台）

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【庄川水系】

「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度の取組計画

【文字色凡例】

- ・茶色：令和7年度・8年度ともに実施（実績及び予定）あり
- ・緑色：令和7年度実施なし・令和8年度実施予定あり

連携活動

- ショッピングセンターにおいてダムによる水害予防の効果等についての説明<市>1回
- 「宮川・庄川流域新五流総地域委員会（大規模氾濫減災協議会）」による顔のみえる関係の構築・防災意識向上<県、市>
- 水防河川巡視の実施<国、県、市町村等>
- 河川安全利用啓発活動の合同巡視<県・村・関係機関>
- 河川合同パトロールの実施<県、市、関係機関>

教育活動

- 小学生を対象とした防災教育の実施<国>
- 小・中学校への防災教育、マイ・タイムラインを活用した出前講座<県、市>
- 緑と水の子ども会議実施 小中学校を対象とした環境教育<市>
- 小学生向けのお天気フェアを開催<気象台>年1回
- 住民を対象とした出前講座の実施<国、市>
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話や、県との連携による研修会等<市>年9回
- 自主防災組織を対象とした水防講習会の実施<国>
- 自主防災組織等に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年3回
- 防災機関担当者等に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年5回
- 地域防災リーダーの育成<市村>
- 防災士養成研修<県>年6回
- 防災士を対象とした研修会の実施<市>
- 市公式LINEにマイ・タイムラインの作成機能を追加<市>
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催<国>

訓練活動

- 洪水予報対向演習の実施<国、気象台>
- 洪水対応演習の実施<国、県、市町村等>
- 排水ポンプ車稼働訓練の実施<国>
- 排水ポンプ車操作研修を実施<市>
- 水防訓練の実施<市>
- 防災訓練、住民参加型の避難訓練、避難所開設訓練の実施<県、市町村>
- 国・県・市村による大規模土砂災害を想定した合同防災訓練の実施<村>
- 安否確認等訓練の実施<村>
- 自治体防災担当者に対し気象防災ワークショップの実施<気象台>

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施<国、市町村等>
- HP・ポスターを活用した水防団員の募集<市>
- 防災訓練支援の実施<市>
- 和田川水門開閉操作点検実施<市>
- 水防資材の確認・整備<県、市>
- 水防団（消防団）との情報共有体制の強化<県>

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水及び河川情報の周知<国>
- 流域内他事務所と連携した広報展開（パネル展示）<国>
- 「とやま川の会」が作成した「流域治水とやま」ロゴマークの活用<国>
- ホームページ及びSNSでの情報提供<県>
- 市広報紙やラジオでの周知広報<市>
- 土砂災害防止月間等における懸垂幕設置、ポスター・パネル掲示<県、市>
- リーフレットの作成<市>

リスク情報等の提供

- メディア説明会の実施<国、気象台、県>
- 台風・大雨時の気象解説<国、気象台>
- 台風・大雨時の警報・注意報の発表<気象台>
- Xによる河川・出水情報の発信<国>
- 内外水統合型水害リスクマップの公表<国>
- 中小河川の洪水浸水想定区域図の公表<県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<県>
- 県管理ダムの貯水位等を県ホームページで公表<県>
- デジタル防災マップを用いたリスク情報等の提供<県>
- 浸水実績の周知<市>
- 総合的な防災マップの作成・配布（洪水・内水ハザードマップ）<市>
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組<県>
- 浸水等リスクの現地表示（まるごとまちごとハザードマップ）<市>
- ワンコイン浸水センサ実証実験の実施<市>
- デジタル防災ガイドの作成・周知<市>
- 防災行政無線、市SNS、防災ラジオ等による市民へ情報提供<市>
- 水位計・河川監視カメラの整備・活用<県>
- 「ぎふ川と道のアラームメール」を活用して市民等へ避難に資する情報の提供<県>
- 土砂災害警戒区域等の指定・公表・周知<県>
- 土砂災害警戒情報の発表<県>
- 土砂災害リスク情報の現地表示（標識設置）<県>
- 岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信<県>
- 災害時避難行動要支援者名簿を作成・更新し、関係機関へ事前提供<市>
- 新しい気象情報の運用開始<気象台>

水災害対策の支援

- 水田貯留への支援<市>
- 雨水貯留タンクの設置補助<市>
- （一定規模以上の）開発行為に対する流出抑制指導<市>
- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<国>
- 河川設備の安全利用点検の合同パトロールの実施<県、市>

計画策定

- タイムラインの運用検証・改善<国>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<県、市町>
- 洪水時対応マニュアルの検証・改善<市>
- 土砂・洪水氾濫対策計画策定に向けた高リスク流域の抽出<県>
- 市町村の立地適正化計画の策定及び防災指針の作成支援（安全で魅力的なまちづくり勉強会）<県>年1回（約40人）5月

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p> <hr/> <p>◎連携活動 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>流域内他事務所と連携した広報展開（パネル展示）</p> <p>”とやま川の会”が作成した「流域治水とやま」ロゴマークの活用</p> <p>ホームページ及びSNSでの情報提供</p> <p>市広報紙やラジオでの周知広報</p> <p>土砂災害防止月間等における懸垂幕設置、ポスター・パネル掲示</p> <p>リーフレットの作成</p> <p>● ラジオを活用した流域治水及び 河川情報の周知</p>			
	<p>ショッピングセンターにおいてダムによる水害予防の効果等についての説明</p> <p>「宮川・庄川流域新五流総地域委員会（大規模氾濫減災協議会）」による顔のみえる関係の構築・防災意識向上</p> <p>● 河川合同パトロール</p> <p>● 水防河川巡視</p>	<p>● 河川安全利用啓発活動の合同巡視</p>		
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>台風・大雨時の気象解説</p> <p>台風・大雨時の警報・注意報の発表</p> <p>Xによる河川・出水情報の発信</p> <p>内外水統合型水害リスクマップの公表</p> <p>中小河川の洪水浸水想定区域図の公表</p> <p>河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信</p> <p>県管理ダムの貯水位等を県ホームページで公表</p> <p>デジタル防災マップを用いたリスク情報等の提供</p> <p>浸水実績の周知</p> <p>総合的な防災マップの作成・配布（洪水・内水ハザードマップ）</p> <p>ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組</p> <p>浸水等リスクの現地表示（まるごとまちごとハザードマップ）</p> <p>ワンコイン浸水センサ実証実験の実施</p> <p>デジタル防災ガイドの作成・周知 6月、9月、11月</p> <p>防災行政無線、市SNS、防災ラジオ等による市民へ情報提供</p> <p>水位計・河川監視カメラの整備・活用</p>			

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>「ぎふ川と道のアラームメール」を活用して市民等へ避難に資する情報の提供</p> <p>土砂災害警戒区域等の指定・公表・周知</p> <p>土砂災害警戒情報の発表</p> <p>土砂災害リスク情報の現地表示（標識設置）</p> <p>岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時避難行動要支援者名簿を作成・更新し、関係機関へ事前提供 ● メディア説明会 		
<p>◎教育活動 地域 個人 </p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい気象情報の運用開始 		
<p>◎訓練活動 地域 個人 </p>				

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎ 訓練活動 地域 個人 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 洪水予報対向演習 <ul style="list-style-type: none"> ● 洪水対応演習 ● 水防訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国・県・市村による大規模土砂災害を想定した合同防災訓練 		
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎ 計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎ 水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎ 水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ● タイムラインの運用検証・改善 ● 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ● 洪水時対応マニュアルの検証・改善 ● 土砂・洪水氾濫対策計画策定に向けた高リスク流域の抽出 ● 市町村の立地適正化計画の策定及び防災指針の作成支援（安全で魅力的なまちづくり勉強会） 年1回 ● 水田貯留への支援 ● 雨水貯留タンクの設置補助 ● (一定規模以上の)開発行為に対する流出抑制指導 ● 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施 ● 河川設備の安全利用点検の合同パトロール ● HP・ポスターを活用した水防団員の募集 ● 防災訓練支援の実施 ● 和田川水門開閉操作点検実施 ● 水防資材の確認・整備 ● 水防団（消防団）との情報共有体制の強化 ● 水防工法研修会 			

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【庄川水系】

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

【文字色凡例】

- ・茶色：令和7年度・8年度ともに実施（実績及び予定）あり
- ・青色：令和7年度実施あり・令和8年度実施予定なし

連携活動

- ショッピングセンターにおいてダムによる水害予防の効果等についての説明<市>1回
- 「宮川・庄川流域新五流総地域委員会（大規模氾濫減災協議会）」による顔のみえる関係の構築・防災意識向上<県、市>
- 水防河川巡視の実施<国、県、市町村等>R7.5~6月
- 河川安全利用啓発活動の合同巡視<県・村・関係機関>R7.8月
- 河川合同パトロールの実施<県、市、関係機関>R7.5~6月



ダムによる水害予防の効果等についての説明（砺波市）



小・中学生への防災教育（砺波市）

教育活動

- 小学生を対象とした防災教育の実施<国>
- 小・中学校への防災教育、マイ・タイムラインを活用した出前講座<県、市>計24回
- 緑と水の子ども会議実施 小中学校を対象とした環境教育<市>計24回
- 小学生向けのお天気フェアを開催<気象台>年1回、計80人
- 住民を対象とした出前講座の実施<国、市>
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話や、県との連携による研修会等<市>年9回、計495人
- 自主防災組織を対象とした水防講習会の実施<国>
- 自主防災組織等に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年3回
- 防災機関担当者に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年5回
- 地域防災リーダーの育成<市村>
- 防災士養成研修<県>年6回、720人
- 防災士を対象とした研修会の実施<市>
- 市公式LINEにマイ・タイムラインの作成機能を追加<市>



出前講座の様子（気象台）



お天気フェアの様子（気象台）

訓練活動

- 洪水予報対向演習の実施<国、気象台>
- 洪水対応演習の実施<国、県、市町村等>R7.5月
- 排水ポンプ車稼働訓練の実施<国>
- 排水ポンプ車操作研修を実施<市>R7.4~6月
- 水防訓練の実施<市>R7.5月
- 防災訓練、住民参加型の避難訓練、避難所開設訓練の実施<県、市町村>
- 国・県・市村による大規模土砂災害を想定した合同防災訓練の実施<村>7月
- 安否確認等訓練の実施<村>
- 自治体防災担当者に対し気象防災ワークショップの実施<気象台>R7.4月
- 異常洪水時防災操作を想定した防災訓練の実施<県>
- 大門地区和田川ダム緊急放流想定 of 防災訓練支援<市>

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施<国、市町村等>R7.6月
- HP・ポスターを活用した水防団員の募集<市>
- 防災訓練支援の実施<市>
- 和田川水門閉開操作点検実施<市>
- 水防資材の確認・整備<県、市>
- 水防団（消防団）との情報共有体制の強化<県>

リスク情報等の提供

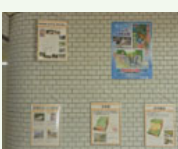
- メディア説明会の実施<国、気象台、県>R7.7月
- 台風・大雨時の気象解説<国、気象台>
- 台風・大雨時の警報・注意報の発表<気象台>
- XIによる河川・出水情報の発信<国>
- 内外水統合型水害リスクマップの公表<国>R8.3月
- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成・公表<県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<県>
- 県管理ダムの貯水位等を県ホームページで公表<県>
- デジタル防災マップを用いたリスク情報等の提供<県>
- 浸水実績の周知<市>
- 総合的な防災マップの作成・配布（洪水・内水ハザードマップ）<市>
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組<県>
- 浸水等リスクの現地表示（まるごとまちごとハザードマップ）<市>
- ワンコイン浸水センサ実証実験の実施<市>
- デジタル防災ガイドの作成・周知<市>R7.6月、9月、11月
- 防災行政無線、市SNS、防災ラジオ等による市民へ情報提供<市>
- 水位計・河川監視カメラの整備・活用<県>
- 「ぎふ川と道のアラームメール」を活用して市民等へ避難に資する情報の提供<県>
- 土砂災害警戒区域等の指定・公表・周知<県>
- 土砂災害警戒情報の発表<県>
- 土砂災害リスク情報の現地表示（標識設置）<県>
- 岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信<県>
- 災害時避難行動要支援者名簿を作成・更新し、関係機関へ事前提供<市>6月~7月
- 水門の電動化・遠隔操作化<市>



警報・注意報の表示例（気象台）

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水及び河川情報の周知<国>R7.5~6月
- 流域内他事務所と連携した広報展開（パネル展示）<国>
- ”とやま川の会”が作成した「流域治水とやま」ロゴマークの活用<国>
- ホームページ及びSNSでの情報提供<県>
- 市広報紙やラジオでの周知広報<市>
- 土砂災害防止月間等における懸垂幕設置、ポスター・パネル掲示<県、市>
- 「とやま河川（かわ）メール」の登録を周知<市>



土砂災害防止月間等（岐阜県、飛騨市）



洪水時の水位表示（砺波市）



水門の電動化・遠隔操作化（砺波市）

水災害対策の支援

- 水田貯留への支援<市>
- 雨水貯留タンクの設置補助<市>
- （一定規模以上の）開発行為に対する流出抑制指導<市>
- 「田んぼダム」に取り組み組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<国>
- 河川設備の安全利用点検の合同パトロールの実施<県、市>R7.5

計画策定

- タイムラインの運用検証・改善<国>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<県、市町>
- 洪水時対応マニュアルの検証・改善<市>
- 土砂・洪水氾濫対策計画策定に向けた高リスク流域の抽出<県>
- 市町村の立地適正化計画の策定及び防災指針の作成支援（安全で魅力的なまちづくり勉強会）<県>年1回（約40人）5月

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【小矢部川水系】

「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度取組計画

【文字色凡例】

- ・茶色：令和7年度・8年度ともに実施（実績及び予定）あり
- ・緑色：令和7年度実施なし・令和8年度実施予定あり

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 「流域ぶらっとフォーム」が主催する流域治水ワークショップへの参加<国、県、市町村>
- 富山県砺波土木センターと水防倉庫の備蓄確認を実施<市>
- 水防河川巡視の実施<国、県、市町村等>
- 河川合同パトロールの実施<県、市>

教育活動

- 小学生を対象とした防災教育の実施<国>
- 小・中・高等学校への防災教育、マイ・タイムラインを活用した出前講座<県、市>
- こども砂防教室の実施<県>
- 小学生向けのお天気フェアを開催<気象台>年1回
- 自主防災組織を対象とした水防講習会の実施<国>
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話や、県との連携による研修会等<市>年9回
- 自主防災組織等に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年3回
- 住民を対象とした出前講座の実施<国、市>
- 防災士養成研修<県>年6回
- 防災士を対象とした研修会の実施<市>
- 市公式LINEにマイ・タイムラインの作成機能を追加<市>
- 防災機関担当者に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台>年5回
- ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催<国>

訓練活動

- 洪水予報対向演習の実施<国、気象台>
- 洪水対応演習の実施<国、県、市町村>
- 排水ポンプ車稼働訓練の実施<国>
- 排水ポンプ車操作研修を実施<市>
- 防災訓練、住民参加型の避難訓練、避難所開設訓練の実施<市町村>
- 自治体防災担当者に対し気象防災ワークショップの実施<気象台>

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施<国、市町村等>
- 水防資材の確認・整備<県、市>

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水及び河川情報の周知<国>
- 流域内他事務所と連携した広報展開(パネル展示)<国>
- 「とやま川の会」が作成した「流域治水とやま」ロゴマークの活用<国>
- ホームページ及びSNSでの情報提供<県>
- 総合防災訓練の機会にハザードマップの周知等、広報活動を実施<市>

リスク情報等の提供

- メディア説明会の実施<国、気象台、県>
- 台風・大雨時の気象解説<国、気象台>
- 台風・大雨時の警報・注意報の発表<気象台>
- Xによる河川・出水情報の発信<国>
- 内外水統合型水害リスクマップの公表<国>
- 中小河川の洪水浸水想定区域図の公表<県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<県>
- 県管理ダムの貯水位等を県ホームページで公表<県>
- 総合的な防災マップの作成・配布(洪水・内水ハザードマップ)<市>
- デジタル防災ガイドの作成・周知<市>
- デジタル防災マップを用いたリスク情報等の提供<県>
- 新しい気象情報の運用開始<気象台>

水災害対策の支援

- 水田貯留への支援<市>
- 雨水貯留タンクの設置補助<市>
- (一定規模以上の)開発行為に対する流出抑制指導<市>
- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<国>

計画策定

- タイムラインの運用検証・改善<国>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<県、市>
- 洪水時対応マニュアルの検証・改善<市>
- 広域避難計画の検討<市>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p> <hr/> <p>◎連携活動 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>”流域ぶらっとフォーム”が主催する流域治水ワークショップへの参加</p> <p>”とやま川の会”が作成した「流域治水とやま」ロゴマークの活用</p> <p>ホームページ及びSNSでの情報提供</p> <p>総合防災訓練の機会にハザードマップの周知等、広報活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ラジオを活用した流域治水及び 河川情報の周知 			
	<p>”流域ぶらっとフォーム”が主催する流域治水ワークショップへの参加</p> <p>富山県砺波土木センターと水防倉庫の備蓄確認を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 河川合同パトロール ● 水防河川巡視 			
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <hr/> <p>◎教育活動 地域 個人 </p>	<p>台風・大雨時の気象解説</p> <p>台風・大雨時の警報・注意報の発表</p> <p>XIによる河川・出水情報の発信</p> <p>内外水統合型水害リスクマップの公表</p> <p>中小河川の洪水浸水想定区域図の公表</p> <p>河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信</p> <p>県管理ダムの貯水位等を県ホームページで公表</p> <p>総合的な防災マップの作成・配布(洪水・内水ハザードマップ)</p> <p>デジタル防災ガイドの作成・周知 6月、9月、11月</p> <p>デジタル防災マップを用いたリスク情報等の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新しい気象情報の運用開始 ● メディア説明会 			
	<p>小学生を対象とした防災教育の実施</p> <p>小・中・高等学校への防災教育、マイ・タイムラインを活用した出前講座</p> <p>小学生向けのお天気フェアを開催 年1回</p> <p>自主防災組織を対象とした水防講習会の実施</p> <p>自主防災組織等からの依頼による防災講話や、県との連携による研修会等 年9回</p> <p>自主防災組織等に気象現象や気象情報に関する出前講座 年3回</p>			

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <hr/> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>住民を対象とした出前講座の実施</p> <p>防災士養成研修 年6回</p> <p>防災士を対象とした研修会の実施</p> <p>市公式LINEにマイ・タイムラインの作成機能を追加</p> <p>防災機関担当者に気象現象や気象情報に関する出前講座 年5回</p> <p>ニーズに応じて「田んぼダム」説明会を開催</p> <p>● こども砂防教室</p>			
	<p>排水ポンプ車稼働訓練の実施</p> <p>排水ポンプ車操作研修を実施</p> <p>防災訓練、住民参加型の避難訓練、避難所開設訓練の実施</p> <p>● 洪水予報対向演習</p> <p>● 洪水対応演習</p> <p>● 自治体防災担当者に対し気象防災ワークショップ</p>			
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <hr/> <p>◎水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体 </p> <hr/> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>タイムラインの運用検証・改善</p> <p>要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</p> <p>洪水時対応マニュアルの検証・改善</p> <p>広域避難計画の検討</p>			
	<p>水田貯留への支援</p> <p>雨水貯留タンクの設置補助</p> <p>(一定規模以上の)開発行為に対する流出抑制指導</p> <p>「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施</p> <p>水防資材の確認・整備</p> <p>● 水防工法研修会</p>			

常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会【小矢部川水系】

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

【文字色凡例】
 ・茶色：令和7年度・8年度ともに実施（実績及び予定）あり
 ・青色：令和7年度実施あり・令和8年度実施予定なし

流域にも視野を広げる
 （自分のためにも、みんなのためにも）

連携活動

- "流域ぶらっとフォーム"が主催する流域治水ワークショップへの参加<国、県、市町村>
- 富山県砺波土木センターと水防倉庫の備蓄確認を実施<市>
- 水防河川巡視の実施<国、県、市町村 等> R7.6月
- 河川合同パトロールの実施<県、市> R7.5月



小・中学生への防災（砺波市）

教育活動

- 小学生を対象とした防災教育の実施<国>
- 小・中・高等学校への防災教育、マイ・タイムラインを活用した出前講座<県、市>
- こども砂防教室の実施<県> R7.6月、72人
- 小学生向けのお天気フェアを開催<気象台> 年1回、計80人
- 自主防災組織を対象とした水防講習会の実施<国>
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話や、県との連携による研修会等<市> 年9回、計495人
- 自主防災組織等に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台> 年3回
- 住民を対象とした出前講座の実施<国、市>
- 防災士養成研修<県> 年6回、720人
- 防災士を対象とした研修会の実施<市>
- 市公式LINEにマイ・タイムラインの作成機能を追加<市>
- 防災機関担当者に気象現象や気象情報に関する出前講座<気象台> 年5回



出前講座の様子（気象台）

訓練活動

- 洪水予報対向演習の実施<国、気象台> R7.4月
- 洪水対応演習の実施<国、県、市町村> R7.5月
- 排水ポンプ車稼働訓練の実施<国>
- 排水ポンプ車操作研修を実施<市> R7.4～6月
- 防災訓練、住民参加型の避難訓練、避難所開設訓練の実施<市町村>
- 自治体防災担当者に対し気象防災ワークショップの実施<気象台> R7.4月



お天気フェアの様子（気象台）

水防活動の支援

- 水防工法研修会の実施<国、市町村 等> R7.6月
- 水防資材の確認・整備<県、市>

水災害・流域治水の広報

- ラジオを活用した流域治水及び 河川情報の周知<国> R7.5～6月
- 流域内他事務所と連携した広報展開（パネル展示）<国>
- "とやま川の会"が作成した「流域治水とやま」ロゴマークの活用<国>
- ホームページ及びSNSでの情報提供<県>
- 総合防災訓練の機会にハザードマップの周知等、広報活動を実施<市>
- 「とやま河川（かわ）メール」の登録を周知<市>

リスク情報等の提供

- メディア説明会の実施<国、気象台、県> R7.7月
- 台風・大雨時の気象解説<国、気象台>
- 台風・大雨時の警報・注意報の発表<気象台>
- IXによる河川・出水情報の発信<国>
- 内外水統合型水害リスクマップの公表<国> R8.3月
- 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成・公表<県>
- 河川水位等が基準値を超えた場合に登録者へメール配信<県>
- 県管理ダムの貯水位等を県ホームページで公表<県>
- 総合的な防災マップの作成・配布（洪水・内水ハザードマップ）<市>
- デジタル防災ガイドの作成・周知<市> R7.6月、9月、11月
- デジタル防災マップを用いたリスク情報等の提供<県>

水災害対策の支援

- 水田貯留への支援<市>
- 雨水貯留タンクの設置補助<市>
- （一定規模以上の）開発行為に対する流出抑制指導<市>
- 「田んぼダム」に取り組む組織に多面的機能支払交付金による支援を実施<国>

計画策定

- タイムラインの運用検証・改善<国>
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保<県、市>
- 洪水時対応マニュアルの検証・改善<市>
- 広域避難計画の検討<市>

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える